

授業科目名 <英訳>	産業・環境衛生学 【領域3】 Occupational health and environmental health sciences				担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 小泉 昭夫					
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2017・ 前期前半	曜時限	木2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
現代の環境問題、産業衛生について概説し、毒性学を基礎にした健康影響評価について講義する。											
[到達目標]											
<ul style="list-style-type: none"> ・現代の環境問題、産業衛生について述べるができる。 ・用量反応関係、LD50、閾値、種差および毒性学の基礎的事項について述べるができる。 ・リスクアセスメントについて述べるができる。 ・化学物質の規制の種類について述べるができる。 ・代表的な化学物質の代謝過程を予測できる。 											
[授業計画と内容]											
コース予定・内容											
第1回（小泉）4月13日 Guidance and general principle Environmental Health Sciences											
第2回（小泉）4月20日 Climate											
第3回（小泉）4月27日 Water pollution											
第4回（小泉）5月11日 Air pollution											
第5回（小泉）5月18日 Occupational health											
第6回（小泉）5月25日 Gene and environment											
第7回（小泉）6月1日 Examination											
第8回（小泉）8月3日予備日（講義内容未定）											
[履修要件]											
MPHコア選択 環境衛生学分野必修											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
平常点（出席を含む）50%、試験50%											
[教科書]											
講義中の配布資料											
[参考書等]											
（参考書） 分子予防環境医学研究会 『改訂分子予防環境医学』（本の泉社）											
[授業外学習（予習・復習）等]											
後期の「中毒学」および「On the Bench Training」を受講するためには、この講義を受講することが必須です											
（その他（オフィスアワー等））											
人間健康科学系専攻学生の受講可否： 上限10人まで可能											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											